

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年11月14日 NO.58

5年生が秋の色づく様子をタペストリーとして制作してくれました。学校中にかざってとてもきれいです。



玄関やあちこちにタペストリーがあって、ほんわかあったかな感じになりましたね。



5年生の子ども達を書いてくれた作文を紹介します。みんなとてもよく書いていました。全員の作文をのせられずにごめんね。

※紙面都合上、全文掲載できない場合もあります。ご了承下さい。

葉っぱの版画

Sさん

わたしは、布に葉っぱの版画をしました。葉っぱの版画をして楽しかったところは、インクをつけて、布に押しつけてはがす時です。理由はちゃんとうっているかドキドキしながらめくれるからです。そして、どの葉っぱがどんなふうになっていくのかわかって、勉強になった気がしました。最初は葉っぱにまったく興味がありませんでしたが、少しだけ興味がありました。ふだん見るのがないから、葉っぱのうらがどうなっているのかわかりました。

おもいっきり形の葉っぱの版画

Kくん

ぼくはいろいろな形の葉っぱの版画をして、最初は失敗したらいけないのではないかと心配でした。でもやっているうちに、おもしろくなって心配してたことを忘れていました。ぼくが、とてもおもしろかった形の葉っぱは、英語のWという字にしてみました。ぼくは大きい葉っぱが好きなのでえらびました。その次にえらんだ葉っぱは丸い葉っぱです。やっぱりその葉は大きいです。ぼくはできた時とてもきれいだなあと思いました。きれいだだったので、もう一回作りたいです。

無題

Wくん

ぼくは、校長先生とやった理科の授業が楽しかったし、葉の色々なさわった感じを知りました。葉を選ぶ時に、どれにしようか迷いました。葉をさわった時、これも面白そうだと思いきや、これ面白くない。色をぬる時、まぜたり一部分だけ色を変えたりしました。色を変えるだけで感じが変わるから、同じ葉で何回もしました。

版画

Sさん

十一月八日に校長先生と葉を使った版画をしました。いつもはあまりふれない自然の葉でも、工夫すればこんなこともできるのかと思いました。だん色の色を使っていたから、校長先生が言っていたように秋っぽく、見ていてあたたくなるようにできました。赤や黄色や茶色がまざっていたのできれいになりました。いろいろな形を使って楽しかったです。

版画

Sさん

十一月八日校長先生と版画をやりました。黄色や赤や茶色をいろんな種類の葉っぱにローラーでつけて長い布にはりました。葉っぱには小さい葉っぱやいろんな葉っぱがありました。わたしはいろんな葉っぱがあるんだなと思いました。絵の具はまぜたりしてすぐきれいな色になりました。本当にすぐ秋の色という感じでした。できあがった版画は秋の色に色がやいていました。赤や黄色や茶色に色がやいていました。(後略)

葉っぱでの版画をやって

Sくん

ぼくは校長先生と授業をして楽しい面白かったです。でも、学んだことありませんが、そのうちの一つは、いろいろな葉の種類があり、それぞれの形や手ざわりがちがうということです。そのことは知っていたんですが、今日版画で使った葉は、自分が知っている以上にいろいろな種類で特長などたくさんあります。知らない葉について、校長先生に聞いたりしてこんな葉もあるんだと思いました。赤と茶色とオレンジをまぜるととてもすごい色になること、あんなすばらしい作品がこんな身近なもので気軽に出来ることなど学びました。最後にこれ以上に世界中には葉があると思ったら、少し葉というものに興味を持ちました。



無題

Yさん

わたしは、木曜日の五時間目に校長先生と葉っぱで布に版画をしました。わたしはあまり版画をやったことがないので楽しかったです。いろんな形の葉っぱがあつたので、すごいなと思いました。それに色をつけるのもっときれいなやつて赤や黄色にオレンジなど、とても秋っぽい色だと思いました。いろんな色をまぜると知らない色になつてとてもきれいでした。自然のものであんなにきれいなやつたのですごいなと思いました。

葉っぱの版画

Tさん

今日は校長先生と理科室で葉っぱの版画をやりました。校長先生と三年生が拾ってきたモミジや名前がわからないけど、表面がふわふわの毛でおおわれている葉っぱなどがあつて、見たときはいまから何がはじまるのかなとか、わくわく楽しみだなあとかいろんな気持ちで心の中でたくさんうかびました。しかも一番うれしかったのは、最近葉っぱにふれていなくて、「版画にする。」と聞いて、「版画？何で？」と思いきり最初はつまらないでしょうと思つたのですが、やつてみたらすごく楽しくて、しかも出来た版画は学校にかざると聞いて、がんばつてやった版画だったのでそれがうれしかったです。今回でとっても自然に對して自分のためになりました。これからもうたくさん自然にふれていきたいです。

校長先生との版画

Sくん

僕は、校長先生たちと自然の葉で作る版画をしました。前に一組がやつたと聞いてどんなことをするのだろうと、楽しみでした。実際にやってみると、「ああ、こうやるんだ。」とか「ここはこの色がいいな。」と考えてやるのが楽しかったです。その中でも一番楽しかったのはローラーで葉に絵の具をぬるところです。きれいに葉っぱに絵の具がぬれると、布に版画した時にきれいな写るので、その時の快感が味わえるので、その時が楽しいです。でもちよつと失敗した時は、次は失敗しないようにがんばろうと思います。終わってみると、楽しくもり上がつていて、でも図工や理科の勉強に少しはなつたかなと思います。そして、改めて自然でこういう作品もできるんだと感じました。

校長先生との版画

Sくん

今日は校長先生との授業で版画をやりました。校長先生とやつた版画は初めてやりました。ぼくが楽しかったのは三つあります。一つ目は葉っぱにぬるところです。二つ目は葉っぱをはがす時です。三つ目は完成した瞬間です。ぼくが一番気持ちよかつたのははがす時です。ぼくは工作的な物はありません。ぼくは虫とかあまり好きではないのですけど、今日みたいに自然とふれることができるとよかつたなと思ひました。今日みたいな体験ができてすごく思い出になりました。

校長先生との秋の葉のスタンプ

Gさん

十一月八日、校長先生と秋の葉のスタンプを作り押ししました。まず、スタンプとなる葉を選びました。秋の葉といえは、イチヨウやカエデですが、他にもたくさん葉があり、知ることができました。それに小さい葉は家にかざりたいなと思ひました。次に葉に絵の具を付けました。主に絵の具の色は、赤、黄、茶の三色ですが、わたしの班は、混ぜすぎて全てが茶色になつてしまいました。最後にスタンプを押して完成です。こうやつて自然にふれる機会があまり無かつたので、おもしろく感じました。スタンプを押すことで、葉の葉脈が細かいことを改めて分かりました。またいつか葉のスタンプをやりたいです。

葉っぱのスタンプ

Kくん

今日、校長先生と葉っぱをスタンプのように白い布に押ししたかざりを作りました。その時に二回おどろきました。一回目は、最初に校長先生が葉っぱを持ってきて、その葉っぱが全部七小のだと知つてびっくりしました。大きさも形もとてもちがうのに、同じ七小の中にこれだけの植物が生えているなんてすごいと思ひました。でも、たぶん使つてない種類の葉っぱもあると思ひます。他にもいろいろとためしてみたいです。二回目はでき上がったのを校舎にかざると知つた時です。もしもかざれば何となくあたたかい気持になれるからです。しかも、いろんな葉っぱを見られるからです。

葉っぱでタペストリー作り

Sさん

私は今日、校長先生といっしょに七小の校庭などにある葉っぱを使ってタペストリー作りをしました。始めに聞いた時、タペストリーって何？と思つたけれど、校長先生のお話を聞いて、何なのかよくわかりました。いろいろな葉っぱの特長を聞いたところでタペストリー作りの始まりです。最初に私と反対がわの人たちが作つて、私はお手伝いをしていました。その後、私たちの番がきて葉っぱを選びに行きました。たくさん葉っぱがあつて、最初は校長先生が絶対に失敗しない葉っぱと言つていた葉っぱでやつてみました。そして、すごくきれいなやつたので、とてもうれしかったです。その後もたくさん葉っぱでやつてみました。私は今日、とてもきれいなタペストリーができて楽しかったです。またやりたいです。

十月八日の五時間目に校長先生と

Sさん

私はたくさん葉の中、小さいイチヨウの葉と、モミジの葉を選びました。イチヨウの葉は、ふつうでは見えない葉脈が浮かびあがつてきていて、とてもきれいでした。モミジの葉は三まい用意し、三つの葉がつながつているイメージで作りました。三つのモミジがよりそつていてとてもあたたかいなと思ひました。私は、葉がやぶれているのはきたないと思ひましたが、校長先生が「やぶれているのも自然だ。」と教えてくれたので考えが変わりました。またこういう体験ができてよかったと思ひます。